



HAPPY NEW YEAR!

本年も何卒よろしくお願いいたします



飛鳥かわら版がリニューアルしました！

モノクロからカラーになり、より多くの方に読んでいただけるよう
企画ページ等も掲載しました。ぜひご覧ください。

連載ページ

おのころじま奮染記 24	田島征彦	01
いろいろかいり その三十二	安藝真一	02
キルギスタンからコンニチハ 82	氏原名美	03
新聞余話 16	大澤重人	04
勝手に興味あるある隊		05

ちーくんの釣り日記	07
出版物紹介	09
広告	11
2022年 飛鳥の抱負	13
わが家の太郎 53	永野雅子 15

おのころじま 奮闘記

ふんせんき

田島 征彦

24. 型 染

② ぼんぼんぴいぴいこまささら

そのくせ、教室へ出てきては、前衛美術を論じたり。染め方も勉強していない染料を飛び散らして、前衛絵画を気取っていた。

そんな、どうしようもないバカなほくに、主任教授の稲垣稔次郎先生が、高価な画集を教室へ持って来て、一枚一枚、ぼくと一緒にめくりながら、当時の最前衛の画家たちの作品について優しく話してくれた。

中学3年の頃、征三との確執から、絵の道を諦めたのだが、高2の終わりに自信を取り戻した。しかし、進学する美大を選ぶには遅過ぎたようだった。京都市立美術大学の染織図案科が入り易いと言うだけで受験して、運良く入学できたのだが。しかし、どう考えても、染織の世界を実際に見ても、ぼくには向いていないとしか思えない。やけになって、先輩たちや先生にも反抗的だった。授業や実習にも出なかった。

また、ある日、僕は教室に呼び出された。クラス11名が、それぞれ絵本の一場面を制作する課題だった。一人が、一場面を12枚の版画に刷って、12冊の絵本ができあがるというわけだ。だから、一人でもサボったら、先生の分も含めて12冊ができないのだ。先生は表紙を担当した。実習授業で雑草をシルエットにして、新しい模様を創り出す作業も、少しは面白味があったが、ファンタジーを創ることに、今まで味わったことのない新鮮な喜びが、わき上るのを感じた。



4回生になり、日本の民話を、白黒の型染にして発表し始めたのも、先生のひとことからだった。先生は、染めを、工芸だけの範疇で考えることはない、版画として、またはタブローとして発表してみてもどうかと、提案してくれた。

大阪府堺市出身。少年時代を高知県で過ごす。京都市立美術大学染織図案科専攻科修了。一九七八年『じごくのそうべえ』で第一回絵本に『ぼんぼん』。二〇一五年『ふしぎなともだち』で第二十回日本絵本大賞。沖繩の子どものたちを主人公にした『やんばるの少年』の次には沖縄戦を題材に、子どもたちに戦争のことを、平和の大切さを伝える絵本を制作中。



田島 征彦
たじま・ゆきひこ
染色家・絵本作家

卒業と同時に征三と2人展をすることになった。東京日本橋にある日本画廊という大きな画廊だった。一階に征三の墨彩画を、ぼくは二階に民話を白黒の型染した畳2枚分から4枚分もある大作を5・6点も並べた。美術誌「みずゑ」がとり上げてくれたのはぼくの「ぼんぼんぴいぴいこまささら」という作品だった。このタイトルは民話に出てくる爺さんのひりだす尻の音だ（屁ひり爺さん）。大きな写真が掲載されて、美術評論家の植村鷹千代氏が展評を書ってくれた。

〈つづく〉

※「おのころじま」は淡路島の古代のよび名



その三十二

年のはじめの

安藝 眞一



お正月は寒かった。年が明けて夜明けの風が、ふとんの襟元に吹き込んで来る冷たさに目が覚めて一思いに覚悟して、寝床からはうように起きて見る部屋の冷たさ。

ふすまも障子も開け放たれ、縁側の戸障子、雨戸も繰り開けられて、一月の冷風が部屋の上にも下にも吹き流れて水の中に座っている気がした。商家だったので昨日の大晦日の夜更まで客の出入りが激しく、よその家のように大掃除などする間もなく年が明けるので、正月になってからの拭き清

め、早朝の掃除は母なのか祖母なのか、いや一段上の曾祖母の指図によるものかと思うままに部屋を見渡す。天井も梁も拭き清められ畳のへりにも寒さが沈んでいて、台所の板張りは黒ずみ光り、朝の光に音もなく凍りついていて。暖房などはもとよりない時代で、こたつは遠い北国の村のもののみと思いついて絵本の中に見るばかりで、暖といえど火鉢一つ。水の中を泳ぐような思いで神仏を礼拝し、正月の雑煮もそこそこに走り出て学校に向かう。

町も寒い。路も寒い。歩くより走る思いで校内にたどりつくと、左手の門柱横の奉安殿に一礼して講堂に入る。先生方、父兄の方々はもう整列して声もなく静まり、入って来る生徒の集団のざわめきが静まるのを待っている。

時間が来て、一番に校長先生が壇上で何やら意味不明の挨拶を大声で続けている。やがてそれが終わると、教頭先生が舞台の上で、うつむきながら何やら紐を繰りほどこき、しばらくして二本になった紐を静かに操ると正面のカーテンがゆっくりと左右に引き分けられ、天皇陛下と皇后の写真が額に

入れられて姿を現わす。

音楽の先生が、おごそかに、一音、ピアノの鍵を打つ、同時に歌が流れる。

「年のはじめのためしとて」先生も父兄も全校の生徒が斉唱し声のひびきが窓を抜けて空に放たれるように流れていく。

「終わりのなき世のためたさを」こころで何やら世のありがたさを胸にたたみ吸い込んで

「松竹立てて門毎に」松竹でなく、まつたけというのが子供心にはやさしく、あれ梅がないが梅が可哀想だと思いながら、「祝う今日こそ楽しけれ」と続いて一番は終わりと。二番は「初日の光りさし出でて」と始まり

「四方に輝く今日の空」と続く。この四方に輝くというくだりを歌うのが好きで、今思えば日中戦争の曇り空の日常が、正月だけおだやかな茜色の空になる幻想があったのではないか。歌は三番に移って、それが歌いおさめで式典は終わる。授業はなし。これで終了。

急いで家に駆け戻り、貰ったお年玉の一角を握りしめて正月の町に出掛ける。四十五銭のハッカパイプを買って口に入れ、まだ

五十五銭のおつりがポケットにある幸福感で人混みに揉まれて歩いていく。

戦争中のこととて、食べ物小屋は皆無で、ことごとくが見世物小屋、しかもあやしげな、ごまかしの屋台が幾重に重なり人混みを押し上げていく。小学生ともあれば、大人の腰程もない身長が幸いして、どの見世物小屋も木戸銭入れずにもぐり込んで見てまわる。

小屋も人も群れも何やら白っぽい光たまりの流れで新嘉橋からうねるように帯屋町になだれていく。その流れに身を寄せて疲れるまで歩きつづけて日が昏れる。元旦の終わりである。正月の二日の記憶はない。お年玉ももうなくなっているから、大した動きでもなかったか、三日もしかり、やがて松の内。

「四方に輝く今朝の空」と学校で歌ったので正月の義理は果たせたと子供ごころに落ちついている。つとめを果たした正月。今はどうか、昔の歌を呼び起こして正月のつとめなどを考えている。

了

安藝 眞一
あき・しんいち／高知市

キルギスの 家計事情

氏原 名美

ほぼ毎日目を通して通信社のウェブニュースに「ビシケクの食卓」という連載がある。両親と未成年の子供二人の四人家族の一週間分の食材をスーパーマーケットで購入し、土曜日ごとに購入価格を前週と比較して報告する内容だ。

食材はパンや肉やトマトなどごく普通の家庭の食卓にのぼるものばかりで比較しやすいように毎回同じ二十品目が設定されている。十二月初めの報告では約六〇ドルだった。食費だけで月二四〇ドル以上の支出となるが、平均給与はそれを下回る二三〇ドルだ。子供の年齢や持ち家か借家などで多少は違うが、エンゲル係数五〇という最低ラインでも月に五〇〇ドルが必要という計算になる。夫妻二人の収入でどうにか間に合わせるしかない。

キルギスは、今年のジェンダーギャップ指数では男女平等の度合いが一五六カ国中一〇八位で日本より僅かではあるが高い。男女同権を建前とした社会主義体制時代からの「伝統」で事務職の公務員や教員は薄給だが男女同権、学校長や役所の課長ポストはほぼ女性だ。ただ、女性フルタイムで働く上に家事も育児も夫の親と弟妹の世話も一身に背負っている。これもまた伝統だ。

片や男性は、古い男女の役割意識が根強く残っているため、妻より多く稼いで自分の家族は無論のことと親類縁者の面倒を見て当たり前とされている。ところが、経済が停滞し国の通貨のソムはこの二年で二〇%も下落した。男性は高収入を求めて転職あるいは外国に出稼ぎに行ったりしていたが、パンデミックではそれもままならない。

中でも学校教員の給与は月一六〇ドルそこそこで、一家の稼ぎ頭であることを期待される男性は次々と辞めていく。結婚して一人前という考えが支配しているから、独身男性は教職のままでと婚資も蓄えられないと嘆いている。

かつて「期待される将来の夫」の条件として、六〇年代は「家付き・カー付き・ババ抜き」、八〇年代のバブル期は学歴・収入・身長「三高」と言われた。いずれにしても条件の第一は経済力だ。学生運動の行き詰まりと挫折感の中、「三無主義」だの「しらけ世代」だのと批判された七〇年代は、『赤色エレジー』や『同棲時代』さながら、結婚相手の条件を云々する前に将来の連れ合いがそばにいたわけで、確定しているのは相手の背丈だけだった。ウーマンリブやフェミニズムは頭の中のことだったし、パートナリーに対しては「価値観が同じなら」と漠然とした思いしかなかった。

現代は男女の別なく「結婚は就活次第」という時代だろうか。

十月半ば、閣僚会議の初日に件の通信社が女性読者を対象に「男性教師が女の子にとって憧れの結婚相手となる月給はいくら？」とウェブアンケートで質問した。教員給与の低さを問題にしているようでもあるけれど、女性は夫の収入に依存して当然と言っている

ようでもある。閣僚会議議長（旧制度では首相）が「来年は教師の給料をあげるから女の子が先生との結婚を夢見るようになる」と発言したのを受けて、あえてバイアスのかかったアンケートを実施したのかもしれない。

氏原 名美

うじはら・なみ

キルギス共和国 ビシケク国立大学
旧称ビシケク人文大学 教授
越知町出身、北海道大学卒。

「キルギスタ」はキルギス共和国の通称の一つ。

ビシケク国立大学
東洋国際関係学部
日本語日本文学講座



学生が制作した
ビシケク
国立大学紹介
動画です

《いづれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣は、その召集を決定しなければならない》（憲法53条）

これに基づき、野党は臨時国会の召集を要求しました。新型コロナウイルス感染が第5波を迎え、病床がひっ迫していた2021年夏のことです。国会は6月以来開かれていませんでした。ところが、与党は8月末に召集しないと決め、多くの新聞社や通信社は《召集「見送り」と報じました》。

SNS上ではこの《見送り》という表現に批判が集まりました。与党に召集しない自由があるのかのように読めるからです。

《与党、臨時国会召集を拒否 野党は「憲法違反」と反発》

ある通信社の見出しです。《召集を拒否》は妥当ですが、後半の《反発》が問題視されました。正当要求なのに、非難めいたニュアンスがにじんでいます。こうした立ち位置が与党側にあるかのような報道姿勢に厳しい目が注がれています。

記者は取材対象の目で物を見がちになります。情報を取る際には、人間関係を築くことになり、相手の立場になって物を考えることが

新聞余話 ⑮ 大澤 重人

報じる側の視座



《召集見送り》と伝えるネット配信記事の例

あるからです。それが度を越すと報道人としては失格ですが、渦中にいると、気づきにくいのも事実です。正直言うと、私も上記の表現を違和感なく読んでいました。

戦史・紛争史研究家の山崎雅弘さんはツイッターでこう指摘しています。

《首相や官房長官が、できもしないことを口先で「やる」と言い、メディアがそれを無批判無検証で垂れ流せば、それが「事実」であるかのように社会に広まり、政府が国民をあざむく効果が生じる。

今の日本のメディアは、そうした「欺瞞への加担」に驚くほど無感覚で、ルーティンワークとして続けている》

要人が方針を示せば、影響力があると報道するのが当たり前です。ただ、それでは、当局の広報にすぎないと言われても仕方ありません。最近、ファクトチェックという、事実関係を後で検証する記事が始まっていますが、発言を垂れ流しするのではなく、最初に報じる段階から、その中身が正しいのか、実現性が高いのかなども記事に織り込めないでしょうか。

時間的・要員の制約を乗り越え、そんな記事が出てきたらエールを送りたい。

臨時国会の召集拒否は、第2次安倍政権時にもありました。沖縄県選出の国会議員らが、3カ月以上召集しなかったのは憲法違反だ

として賠償を求めた訴訟では、那覇地裁が2020年6月に判決で「内閣には国会を召集する憲法上の義務がある」と明言しました（控訴審判決は22年3月予定）。

今回の衆院選後も、改憲勢力は衆参両院で改憲の国会発議に必要な3分の2を維持しました。岸田文雄首相は「精力的に取り組む」と意欲を示しています。

《天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ》（憲法99条）

憲法を守るべき義務がある人たちが、臨時国会召集の義務さえ守れないのに、憲法を変えたいというのは、理解に苦しみます。

こういう耳の痛い声を聞く人が、本当の聞く力のある人です。こうした声を毅然と報じる人が、本当の新聞人です。



大澤 重人

おおざわ・しげと

渡来入歴史館（大津市）
専門員、元毎日新聞高知支局長

近著に『咲くや むくげの花ー朝鮮少女の想い継いで』（富山房インターナショナル）

ちーくんの釣り日記

目指せ!! 100 魚種の旅



ごあいさつ



この度、不肖私「ちーくん（幼少からのあだ名）」はひょんなことからユーチューバーデビューをさせていただくこととなりました。

趣味の釣りを活かし「ちーくんの釣り日記」と題し、100魚種を釣り上げることを目標としておりますが、ただ単に釣りをやるチャンネルだと面白くないので、100魚種を釣るといふ過程の中で、色々な人との関わりや、地元高知の魅力をPRできればと考えております。

広く浅くというよりは、狭く深く、飛鳥を知っている方に楽しんでもらうことを目的としているので、クスッと笑っていただけの動画を、のんびりと少しずつアップしていければと思っています。今後ともよろしく願っています。

この格の違いを見せていただきながらも、まさかの「マダイロック」に！
そして終盤、大物を釣り上げるも、またしてもオチが！



第2話 助っ人登場!! 船釣り

今回の達成魚種

- ニロギ(ヒイラギ)
- ネイリ(カンパチ)
- マエツ(ハマチ)
- マエツ(フリ)
- マエツ(キダイ)

※マダイロックは99魚種達成で解除

第3話 桂浜水族館 釣り堀対決！

第3話は完全企画(笑) 高知市内唯一無二の水族館にして、いまや全国に名を轟かせている「桂浜水族館」様ご協力の下、釣り堀対決を敢行！
娘まで駆り出しての撮影となりましたが、小さい頃に連れて行って貰った桂浜水族館を娘と一緒に回りながら懐かしさと、生き物との触れ合いに大満足できました！
対決は3人1チームによる5本勝負。
お相手はハマスイ(桂浜水族館)のもりちゃん、まるのん、おとどちゃんチーム。
対して飛鳥は営業の長谷部、娘あいちちゃん、ちーくんチームにて真剣勝負!!
はたして結果は...!?
ぜひ本編をお楽しみください！



第1話 釣り日記開始！

記念すべき第1話は、私自身も初回ということでの緊張と、どんなテンションでいけばいいか探りながらも「Fishing ハヤシ」の上杉店長様ご協力の下、陸釣り釣行に行ってきました！
まだまだ暑さが残る時期に、春野から宇佐、そして須崎へと移動しながら、チヨコチヨコと魚種こそ稼げましたが、食べられもしない小物を釣ってはリリィスの連続で心が折れかけた時に、上杉店長からご指南いただいた小アジ仕掛けにやっとこさ待望のアジが！と喜んだ矢先に、まさかのオチが！



第2話 びっくらこいて がつかり！

第2話は本命の「船釣り」のはずが天候不良により、またしても陸釣りに行くも撃沈。
日を改めて船釣り釣行。100魚種という遠い野望に助っ人制度という光が見え、釣りの師匠でもある高橋社会保険労務士事務所の高橋所長様との釣行では、「流石は助っ人」と



◎YouTube始めました！



第1話 釣り日記開始です！

YouTube チャンネル ちーくん日記

チャンネル登録 お願いします！



今回の達成魚種

- ガシラ(カサゴ)

トータル 17 100 魚種



第3話 桂浜水族館 釣り堀対決



釣れたよ！



ちーくんのお知らせコーナー

「おとどちゃん」が初のエッセイ本を発売したよ！



定価1,540円(税込) 出版社:光文社
ファン待望のぬいぐるみも同時発売され、爆売れ中です！
ファンブックや写真集もぜひ手に取って見てねー！
全国の書店にて販売中

2016年に生まれて今日まで、おとどちゃんが館長や飼育員、生きものたちと過ごしてきた日々を綴ったエッセイです。
「生」や「死」を通して「生きる」とはなにか、「愛する」とはなにかを見つめることができる一冊。寄せられたお悩み相談とおとどちゃんが答えた「おとどちゃん」のラップやボエム、大人気飼育員「盛田のおんちゃん」のエッセイなど特別収録もたくさん！

松崎淳子

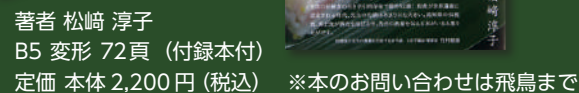


好評発売中!

- 土佐伝統食研究会代表
- よい食生活をすすめるネットワーク会長
- 土佐学協会副会長
- こうち男女共同参画ポレール代表

1926年生まれ
昭和24年 高知県立女子専門学校生活科卒業
同 年 高知女子大学助手となり、家政学部教授として調理学を主に専攻
平成 4年 定年退職 名誉教授（平成23年より高知県立大学に校名変更）
平成19年 高知県文化賞
平成28年 文部科学大臣表彰 地域文化功労（芸術文化）受賞
令和 2年 高新大賞
令和 3年 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

サバ寿司名人 松崎 淳子
「土佐寿司の本」



二本杖で、ようよう歩いて、動きゆうのは口と手だけの私が土佐学協会に入っただのは二〇〇七年の創立の時。「土佐をゆたかにする」時。合言葉のもと「生活に目をつけて、勉強を始め、こむつかしゅうせんと、全体を見渡して、指導者を育てる」老若男女の集まりです。偶々ここで、書けと云われたら書き、話せと云われたら喋っていました。その私が九〇歳を過ぎると「こりゃア手伝うちゃらんと」と、若い方たちが……で、これまでの会報への寄稿やら、講演を活字で並べるだけでなく、具体像を撮影しに来てくれたり、かわりのある記録や行事を並べたりして、楽しく、内容豊かな冊子にと。これぞ土佐学的事業！って感じに。そのタイトルが「土佐寿司の本」な感じです。

飛鳥
出版室

著者	渡邊進
挿画・装幀	渡邊進
発行	渡邊武
制作	飛鳥出版室
定価	一、六五〇円(税込)



日時計の午睡ひるね

鮮度のある加齢

白髪は年齢のしるしであるが、智慧のしるしではないという。年を取っていいことはなんだろうと考えるのだが、満足する答えを見付けることは難しい。そうしたなかで、いままで当たり前に思っていたことが、本当は一番大切なのだということに気付かされることがある。たとえば「小人は縁に出会うて縁に気づかず、中人は縁に出会うて縁を生かさず、大人は袖触れ会う縁をも生かす」といったことなど、若いときはフンフンと頭で理解するだけだったが、いまはなるほどと共感することしきりである。

人生にとって、出会いがどれほど大切なものであるか、来し方のそれを思うと、多くの巡り合いが思い出されて胸が熱くなる。老いの寂寥を癒してくれる最高の宝である。

どんなに願つても、もういままで生きてきた人生の數分の一の長さも生きられない残された時間に、どれだけ出會いを持つことができるのだろうか。

さて、人はまだ経験しない時間を加えて年を取つていく。そこに加えられる時間は、若い人の一年も、老人の一年も、同じく「これから」の未來のために用意された時間である。

激さず、氣負わず、氣輕に生きたらいいと思うが、さりとて円満居士にもなりきれない。何でもやつてやろうと騒ぎ立てる馬力はもうないが、あくなき好奇心が無為の時間をそそのかしつづけるのをどうしようもない。まだまだ悟りきれない時間がつづく。

いままでは何をしたかでなく、これからなにをするか、なにができるかである。やはり前を向いて歩いていくべきか。

本文より

護身用弾と末期米

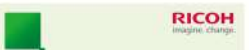


四六
著者判
私制
家
版作
飛鳥山
出版協
室勉
400頁

著者が平成30年1月に74歳になって書き始め、令和元年12月の75歳を終えるまでの2年間に記したものです。

日々頭の中を際限なく去来する様々な想いを書き留めたもので、1話が数頁の短文にまとめられています。

著者はあとがきで「頭の中を去来する、どうというほどのこともない想いを書けば、色々様々に際限なく出てくる。それを次々に書いて行けば同じ田の中をいつまでも廻っている感じで終わりも果てもなく拡がりもない。」と書いているが、平成から令和へと変わる時代の貴重な記録であり、それはまた著者の自分史そのものではないでしようか。



リコー再生エネルギー供給証明書

株式会社飛鳥 様

実質再生可能エネルギー100%の電力を供給していることを証明いたします。

発行番号：R21再生E100-000089
(お客様照会番号 DC10001312001)
メニュー名：リコー再生エネルギー100%
有効期間：2022年1月1日～2023年12月31日
※本証明書は、R21再生E100-000089の再生エネルギー100%の電力を供給していることを証明いたします。

リコーエナジー株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

私たち、株式会社飛鳥はSDGsに取り組んでいます。

実質再生可能なエネルギー100%の電力を確保し、環境への配慮を実施しています。



ホームページの**作成 編集 管理**が**誰でも 驚くほど簡単に!**

新時代のCMSが誕生しました!

A-TOOL

エイツール

「A-TOOL」はみなさまの声から誕生した、オンラインのホームページ作成サービスです。インターネットにつながる環境ならば、いつでもどこでもホームページの画面上で作成や編集を行うことができ、HTMLやCSSといったホームページを作成するための知識も必要ありません。

「A-TOOL」はお客様の声から誕生しました!
「ホームページを作成したことがない」「HTMLなどの知識なんてまったくない」そんな方でも簡単に楽しみながらホームページの作成ができる**「えい(良い)ツール」**です。

YouTube 動画でCheck!

※動画はWEBサイトでもご覧いただけます。

自分たちでホームページを作り込みたい!!

サイトにスピード感が必要!!

自社で簡単に更新したい!!

更新作業を特定の社員に頼りっぱなし

自社で簡単にネットショップを運用したい!!

今すぐ商品を公開したい!!

「A-TOOL」の利用者が“ぞくぞく”と増えています!

全て「A-TOOL」が解決します!! 詳しくは飛鳥まで!

TEL: 088-850-0588 MAIL: info@asuka-net.jp

<https://a-tool.jp>

えい(良い)ツールあるよ!

ネットって、どうしたいんだっけ? どうしたらいいのかな? 困ったワン!

ブルさんの

ホームぺーじは作るのが難しいそうだし

それなら、えい(良い)ツールあるよ!

え?

クリック操作で編集も楽にできるんだ!

知ってか知らずか、A-TOOLなら簡単にサイトが作成できるし

だ、これでお店の宣伝もバッチリ!

ありがとうございます! A-TOOL

イラスト制作: 田村





本物の手ごたえ

Water Sport & Outdoor Sport
Fishing ハヤシ

〒780-8011 高知市梅ノ辻-51 TEL 088-831-8888

営業時間 平日 9:00～21:00 日・祝 9:00～19:00

<http://www.f-hayashi.com>  **フィッシングハヤシ**

桂浜水族館は2021年4月1日で**創業90周年を迎えました!**

創業100周年に向けて、スイズク・スタッフ一同がんばっていきますので、これからもよろしくお願いいたします。

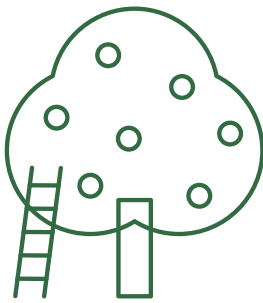
桂浜水族館

【最新情報】
コツメカワウソの赤ちゃんが生まれました!

2021年11月13日(土)、コツメカワウソの「王子(おうじ)」と「桜(おう)♀」の間に赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんは2022年の2月頃に一般公開予定です。赤ちゃんたちの様子は桂浜水族館公式YouTubeチャンネルにて動画でチェックすることができます。



あぁ、もっと愛して、なが〜く愛して♡!



たかはし 社会保険労務士事務所

Takahashi Labor and Social Security Attorney

高知市和泉町 6-1 いずみビル 302

TEL 088-803-8077
FAX 088-803-8078

専門分野

就業規則 労務相談 雇用管理 就業管理 人事管理
賃金管理 労使関係 社会保険 給与計算 助成金

飛鳥に関わる全ての人の 心からの笑顔と満足を創出します



株式会社 飛鳥
代表取締役社長 永野 正将

51年目への想い

弊社は、先代の（故）永野和宏が実家である製版会社から独立し、写真植字の仕事を始め、有限会社四国写植を設立、その後株式会社飛鳥へと変遷する中で、印刷事業、出版事業、デジタル事業など情報発信を生業としながら、これまで50年という歴史を刻むことができ、この間、多くのお客様から心温まるご支援をいただいております。

昨年、創立50年という節目のタイミングでコロナウイルスという世界的な脅威に直面し、企業としての「あり方」や「価値観」について様々考えさせられました。51年目となる

本年は私自身、48歳の歳男として何か新しいスタートを強く感じる新年を迎えております。

いつぞや、先代に「なぜ飛鳥という社名にしたのか？」と訪ねたところ「電話帳の最初に出てくるように！（当時はインターネットも普及していない時代）」「出版の仕事をしているため日本古来の文字を使いたかった！」そして何よりも凄いと感じたのが、印刷全盛期だった当時に「これからは印刷だけでは厳しい時代が必ず来る！その時にあらゆる業種、業態へと変革を遂げていかないといけない！そのためには〇〇印刷という業種が固定される企業名は避けたほうがよい！」という話を聞き、当時は「ふーん」という程度でしたが、改めて思い返すと、まさに先代の言う通り、いまではホームページ制作や動画制作、AR（拡張現実）など媒体にとらわれない業務内容へと変革をしてまいりました。

とはいえ、まだまだ印刷事業が主軸となっており、いかにしてお客様のニーズにより良いご提案を行い、ご満足いただくことができるか！また、お客様の満足を通して従業員やそのご家族、そして取引先や関連会社様など、飛鳥に関わる全ての人の心からの笑顔と満足「につながるよう、誠心誠意、全力で頑張りたいと思います。

私自身も経営者として12年目の青二才、まだまだ足りない部分も多々ございますが、株式会社飛鳥と従業員共々、引き続き末長く



くご支援をいただければ幸いに存じます。

本年が皆様にとって幸多き年となることを心より祈念申し上げ、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



口角五ミリ

新しい年を迎え、今年も健康で、皆さんのお役に立てるよう精進したいと思えます。口角五ミリ上げる努力（笑顔）をいたします。



常務取締役 経理部
永野 雅子

寄り添える存在に

今まで以上に「一人ひとりのお客様に寄り添える存在」となれるよう精進します。まずはお正月に「男はつらいよ」を観て寅年をスタートだ！



統括部長 営業部
川田 道彦

四年目からの飛躍

おじさんになってからの初めての業界へ中途採用。3年間の勉強、充電期間は終了。今年の私は一味ちがいますよ。



営業部
長谷部 冬樹

利他主義

「お客様の満足」を心がけ、そのお手伝いの出来る制作、営業になりたいと思います。お客様の幸せ＝自分の幸せです。



制作 / 営業部
林 誠司

いつも笑顔で

ことわざの、笑う門には福来る。を信じて、しんどい時こそ笑顔で頑張るぞ！と心に決めた2022年！！今年も宜しく願っています。



経理部
永野 美佐

2022

社員
の
抱負

一日一生

一日一日の積み重ねが一生涯に繋がっています。毎日仕事をする中で、一日一日を大切にしたいです。



制作部
西本 久美

より良くしていきたいです

少しでもお客様のお役に立てるようなデザイン制作をしていきたいと思っています。そのために日々学び仕事に生かしていきたいです。個人的な抱負は運動不足の解消です！



制作部
田村 彩

まだまだ勉強ですね

この業界に来て四半世紀！技術もトレンドも着いて行くのにやっとなさ。それでもまだまだ日々吸収。若いモンには負けませんよ（笑）



制作部
福留 啓輔

労を惜しむな

めんどくさがりな上に、年々エネルギーが減少し、つい楽をしたくなる私に、この言葉を言い聞かせながら努力します。



制作部
嶋崎 喜代子

向上心を忘れずに

去年は育休から復帰したばかりで仕事の感覚を取り戻すのに必死でしたが、今年は新しい仕事にも取り組みたいと思います。



制作部
柴田 真弓

無事息災

年々感じる健康の有難み！お客様に満足していただける仕事を安定してご提供できるように、今年も健康に気をつけて頑張ります。



制作部
平山 舞

下学上達

自分で出来ることを増やすために、新しい印刷機についても積極的に学んでゆき、スキルを習得しようと思えます。



印刷部
益井 裕也

精励恪勤

力の限りを尽くして仕事に励む。そして印刷技術へのこだわりと現場目線の提案などとしてより効率的な仕事環境を目指したいです。



印刷部
中村 和史

安心・誇り・挑戦

「安心」出来るサービスの提供。付加価値を高め、より良い印刷に「誇り」を持ち、明るく一生懸命目標に向かって「挑戦」します。



印刷部
氏原 章貴

獅子搏兔

あらゆることに気がつくように、当たり前のことですが、簡単なことでも気を抜かず、全力で取り組む。



校閲
永野 裕子



わが家の太郎

53



復活

永野雅子

近づく、かすかにお腹が上下しているの、「ああ、生きてる！」と一安心。

息子が、今夜は側で寝ると言ってくれる。

太郎は10月頃まで夜な夜な大声を上げていたが、最近

それでも食事のカリカリは食べるので、様子を見ることにした。

夜、安定剤を1包飲ませると朝まで寝るようになった。昼間は外に出て庭をうろうろしているが、庭木の枝に首輪やおむつが引っかかって動きが取れなくなることもあるので、息子がつつじや南天を切ってしまった。お正月を前に殺風景なことこの上なし。それでも元気に歩けるならと我慢する。

防音室も、私が屈んで出入りするのが苦痛になったため、撤去してもらった。

広がる分、太郎はあちこちにつつかってはクルクル回りをしている。

ある夜、静かだなど覗いて声を掛けるがびくともしない。

あれほど夜中に何度も起こされて、下の世話や、散らかって水浸しの床の後始末に「もう、いい加減にして!」と、悩まされて来たのに、このままお別れになるかもしれないと思うと、「太郎、ごめん」と言いながら涙が出てくる。



あくる朝、音がするので見ると、なんと、机の下に潜り込めないようにと囲ったフェンスを外して入り込み、ウー、ウー。餌箱は空っぽで、カリカリを蹴つ散らかした上、水入れも全部こぼしてそこらじゅう水浸し。

昨日替えたばかりのふかふか毛布も敷物もびしょびしょ。あーあ、昨夜流した涙はどこへやら。

起きて来た息子曰く「復活!」

16歳になった太郎、お正月を迎えることが出来るかと心を

配したが、どうやら大丈夫の様子。

お会いする方に「太郎君、元気ですか?」と声をかけていただくことが多くなった。社員には

「常務、太郎の世話は大変だと思うけど、太郎のおかげも大きいですよ」

と言われ、本当にその通りと納得する。

今年はまだ少し優しくなるからね。太郎!



永野 雅子
ながの まさこ
株式会社 飛鳥
常務取締役

夫、和宏と共に写真植字業を創業。有限会社四国写植、のちに株式会社飛鳥へ社名変更すると共に、会社の発展を陰で支える。
読者の要望に添えて「わが家の太郎」の執筆を続け、現在に至る。



①~⑤⑨+書き下ろし
「わが家の太郎」
A判変形 並製本 148頁
定価 1,320円(税込)

「飛鳥かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援しています。

飛鳥かわら版 第206号【新春号】 飛鳥出版室

●発行所: 株式会社 飛鳥 ●発行人 永野 正将
●住所: 〒780-0945 高知市本宮町65-6 ●電話: 088-850-0588
●メール: info@asuka-net.jp ●ホームページ: <http://www.asuka-net.jp>